

京都市

人権ゆかりの地 マップ

千年の時を超えて都であり続けた京都市は、様々な立場の人々がたくましく
生き抜いた、人権文化の伝統が歴史の中に脈々と息づくまちです。

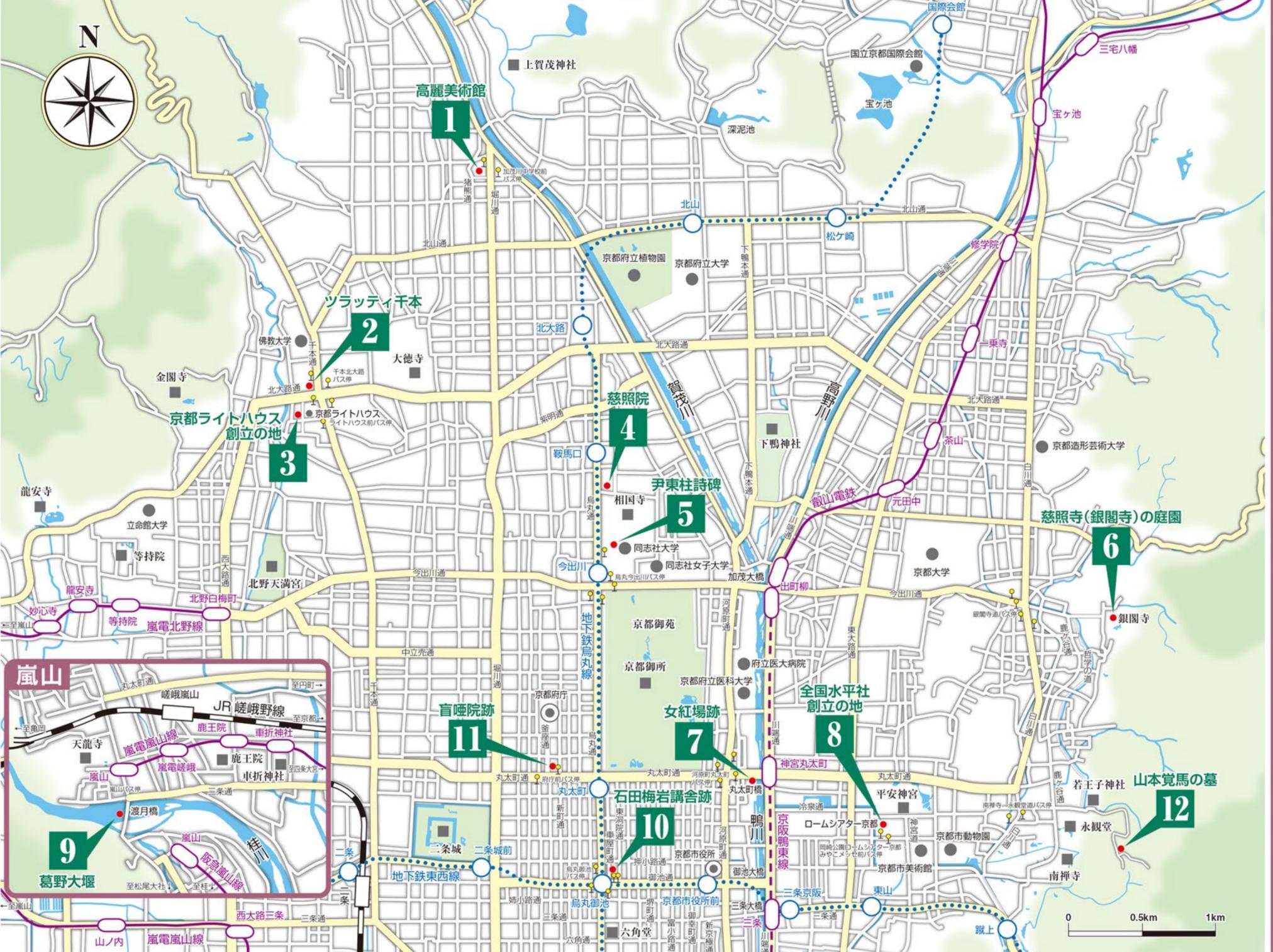
この地図では、そうした先人たちの足跡を振り返り、市内に数多く存在する
名所・旧跡等の中から人権にゆかりのある地を幾つか紹介しています。今一度、
人権について考え、「人権文化の息づくまち・京都」を共につくっていきましょう。

●次のアドレス・QRコードにアクセスいただくと、一部の施設の動画を御覧いただけます。
<http://www.facebook.com/jinkenbunka>

●人権ゆかりの地へは公共交通機関を御利用ください。

参考文献 「人権ゆかりの地をたずねて」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、京都市内編（京都人権啓発推進会議）
「京都人権歴史紀行」（人文書院、世界人権問題研究センター編、監修 上田正昭）
「講座・人権ゆかりの地をたずねて」（世界人権問題研究センター）

「同じです あなたのわたしの大切な」
京都市印刷物第275465号
発行：京都市文化市民局くらし安全推進部 人権文化推進課 平成28年3月



1 高麗美術館

人権まなびの地

京都をこよなく愛した在日朝鮮人の鄭道文氏が収集した朝鮮の美術工芸品や民具などが展示されています。美術館の門を入ると、朝鮮文化を象徴する石人や石塔が立ち並び、京都中の朝鮮文化に触れることができます。

要入館料。
TEL 075-491-1192
FAX 075-495-3718
●市バス「4」「9」「46」ほか「加茂川中学校前」徒歩1分

2 ツラッティ千本

人権まなびの地

地域の歴史や住民参加のまちづくりなどを通して広く人権について学べる展示施設として、平成6（1994）年に開設しました。「ツラッティ」とは、「連れ合っテ」の縮約による京言葉で、「家族と一緒に連れ合っテ見学に来てください。」という意味がこめられています。

入館無料。
TEL/FAX 075-493-4539

●市バス「204」「205」「206」ほか「千本北大路」すぐ

3 京都ライトハウス創立の地

社会的弱者の人権にゆかりのある地

戦後、盲教育が振興する中、「京都に盲学生のための図書館」という切実な願いから寄せられた募金や、盲学校教員で自らも目に障害があった鳥居篤治郎の私有地提供により、図書館事業だけでなく、視覚障害者の福祉と文化教養の総合施設として創設されました。この地には、鳥居篤治郎の銘板が残されています。

●市バス「6」「46」「59」「206」ほか「ライトハウス前」徒歩3分

4 慈照院

国際交流にゆかりのある地

江戸時代の日朝交流において、京都五山の僧侶は、来日中の朝鮮通信使に随行する役割を果たし、文化交流を営みものにしました。慈照院にはこれらの交流から生まれた往復書翰や詩文等の資料が残されており、寺院の前に駒がおります。通常は非公開で参拝できませんが5名以上の団体については、事前に電話で申し込み資料の閲覧が可能です。要参拝料。

TEL 075-441-6060
FAX 075-414-0725

●地下鉄「鞍馬口」駅 徒歩5分

5 尹東柱詩碑

歴史の教訓をいまに伝える地

韓国から来日し、同志社大学で学んでいた尹東柱は、当時、使用を禁じられていたハングルを用いて詩を書いたことで逮捕、投獄され、昭和20（1945）年に福岡の刑務所で亡くなりました。この詩碑は同志社大学で学んだ韓国・朝鮮人卒業生により、平成7（1995）年に建立されたものです。

●地下鉄「今出川」駅 徒歩1分
●市バス「59」「201」「203」ほか「丸太今出川」徒歩1分（同志社大学今出川キャンパス内）

6 慈照寺（銀閣寺）の庭園（世界遺産）

被差別民衆の活躍にゆかりのある地

中世から近世にかけて河原者と呼ばれて強い差別を受けてきた人たちのうち、庭作りに携わる人は庭師と呼ばれ、寺院等の作庭で中心的な役割を果たしました。中でも善阿弥は、特に優れた作庭能力を有していたことから、室町幕府八代将軍の足利義政に重用され、慈照寺となる東山殿の作庭に深く関わったと考えられています。なお、現庭園の大部分は江戸時代に改修されたものです。

●市バス「17」「203」「204」ほか「銀閣寺」徒歩8分

7 女紅場跡

社会的弱者の人権にゆかりのある地

女紅の「紅」とは、機織や裁縫など、当時の女性が生活するための技術のことであり、それらを教える場として、明治5（1872）年、我が国的女子教育の先駆けとなる教育施設が、この地に開設されました。

●市バス「202」「204」「205」ほか「河原町丸太町」すぐ
●京阪「神宮丸太町」駅 徒歩1分

8 全国水平社創立の地

被差別民衆の活躍にゆかりのある地

大正11（1922）年3月、当時の京都市岡崎公会堂に差別の撤廃を求める被差別部落の人々が集まり「全国水平社」の創立大会が開催されました。大会では、「人間を尊敬する事によって自ら解放せんとす」と「人間に光あれ」とする、日本人権宣言とも言われる全国水平社創立宣言が確認されました。この石碑は、創立大会の開催地を示すものです。

●地下鉄「東山」駅 徒歩11分
●市バス「32」「46」ほか「岡崎公園ロームシアター京都」徒歩2分（ロームシアター京都前）

9 葛野大堰

国際交流にゆかりのある地

5世紀後半に朝鮮半島から渡来した薬氏は、治水灌漑・農地開発の土木技術に長け、今の渡月橋辺りに、川の流れをせき止めて貯水し、流れ別の水路を設ける堰を造りました。これにより、洪水を防ぐと同時に農業用水が確保され、周辺一帯の開拓につながりました。

●嵐電「嵐山」駅 徒歩4分
●阪急「嵐山」駅 徒歩7分
●市バス「11」「28」「93」ほか「嵐山」徒歩4分

10 石田梅岩講舎跡

社会的弱者の人権にゆかりのある地

享保14（1729）年に現在の中京区の民家で、正直・倨・勤勉など、人が人として生きる道について、男女を問わず、誰でも無料で聴講できる形で講義を始めたこと知られている石田梅岩の教えは、商人を中心に多くの人々の心を捉え、石門心学と呼ばれるようになりました。この石碑は、講舎の跡地を示すものです。

●地下鉄「丸太町」駅 徒歩1分
●市バス「15」「51」「65」ほか「丸太町池」徒歩1分

11 盲啞院跡

社会的弱者の人権にゆかりのある地

明治11（1878）年に開設された日本最初の盲・聾学校である「京都府盲啞院」は、明治8（1875）年頃に、現在の上京区内の小学校の教師であった古河太四郎が校内に設置した教場が発展したものです。この地には、明治12（1879）年に竣工した移転後の校舎がありました。

●市バス「10」「93」「202」「204」ほか「府庁前」すぐ
●地下鉄「丸太町」駅 徒歩10分

12 山本覚馬の墓

社会的弱者の人権にゆかりのある地

山本覚馬は、幕末の動乱により視力を失い下半身不随となりながらも、京都府の顧問格に就き、日本で最初の小中学校、精神病院、女紅場や盲啞院等の設置に取り組みなど、社会的弱者の権利擁護に尽力しました。

●若王子神社から山道を徒歩25分
●若王子神社へは市バス「5」ほか「南禅寺・水観堂」徒歩5分